

6. 町消防団の姿



八百津町消防団の平均年齢は37.1歳。全国の消防団平均年齢と比較すると比較的若い年代が団員になっている現状ですが、10代から20代前半の入団は少なく、団員の平均年齢も年々上がってきています。また、核家族化やライフスタイルの変化などから、地域連帯感が希薄化しており消防団員の確保が困難な状態となっています。

7. 消防団員が減ることによって



地域の防災力を高めるうえで、消防団は重要な組織です。そのため、消防団員が減少することによって地域の防災力の低下に直接結びつくということになります。



▲ 防火訓練(左上)、出初式(右上)、分列行進の様子



▲ 岐阜県消防操法大会8位入賞 黒瀬班のみなさん

8. 消防団の主な行事



□消防操法大会

消防操法とは、消防団の訓練のひとつです。消防における基本的な操作の習得を目指すため手順であり、小型動力ポンプ操法と、ポンプ車操法があります。設置された防火水槽から、給水し火災現場を意識した火点と呼ばれる的にめがけ放水し、撤収するまでの一連の手順を演じます。また、操法訓練とは消防技術を高めるうえで、非常に重要な訓練と言われています。そして、この操法技能の高さを競う操法大会が全国規模(郡・市町村大会、都道府県大会・全国大会)で行われており、昨年は八百津町消防団が見事郡大会を勝ち抜き岐阜県大会に出場し8位入賞を果たしました。

□出初式

出初式とは、消防団関係者により1月上旬に行われます。出初式では、優良消防団員の表彰や、分列行進、一斉放水訓練など行われます。そして出初式は非常に古くからの歴史を持ち、消防団関係者においては伝統的な行事の一つです。

消防団員募集！！

八百津町消防団では、男女を問わず消防団員を募集しています！

少しでも関心のある方はお近くの消防団員か、

役場2階 防災安全室(☎43-2111 内線2232)

までご連絡ください！